

平成30年度 大学院経営管理研究科・商学部

動画制作に関する公募要領

平成30年11月13日

国立大学法人一橋大学 経営管理研究科

国立大学法人 一橋大学（以下「一橋大学」という）では、大学院経営管理研究科・商学部による広報活動を改善させるために、学部の運営するメディアに掲載する動画の制作者を提案公募方式により募集しますので、希望する場合は下記に基づきご応募ください。

記

1. 動画の仕様

(1) 業務目的

2018年4月より、商学研究科・商学部が経営管理研究科経営管理専攻・商学部（以下「HUB-SBA」※という）として改組した。組織名は変われども、一橋大学大学院商学研究科・商学部の伝統を引き継ぎ、アジアのビジネス研究・教育をけん引するという、ブランドイメージを学内外に訴求する必要がある。その一方で、HUB-SBAという新たな組織で提供される、アップデートされた価値を学内外に周知していく必要がある。したがって今回の動画制作においては、伝統を受け継ぎつつも新たな価値を有する、HUB-SBAブランドイメージの浸透を目的とする。

※経営管理研究科 経営管理専攻・商学部は「Hitotsubashi Business School, School of Business Administration）」と呼称される。HUB-SBAとは、その略称である。

(2) 業務内容

HUB-SBAでは、WEBサイトなどインターネットメディアを運営している。ここでは主に文字や画像による情報発信を行っているものの、動画による情報発信を行っていない。そこで本業務は、ターゲット別に情報発信するための動画を制作するものである。具体的には以下の3つの動画を制作する。

- ① 海外に在住の潜在的外国人留学生および研究者に向けたHUB-SBAをアピールする動画
（以下「留学向け動画」という）
- ② 国内に在住の潜在的入学者にに向けた大学院MBAプログラムをアピールする動画
（以下「社会人向け動画」という）
- ③ 商学部に所属する学部生に向けた商学部のミッションを理解させる動画
（以下「ミッション動画」という）

(3) 業務対象及び納期

2019年3月29日（金）

(4) 納品物

- ① 上記動画3種の記録されたメディア。ただし、以下に留意して納品すること。

- a. それぞれの動画を P r o r e s s 4 4 4 4 (画素数：4 0 9 6 × 2 1 6 0)、H 2 4 6 - m p 4 (画素数：1 9 2 0 × 1 0 8 0)の形式にて書き出し、USBメモリに保存し、正副2本納品すること
 - b. ミッション動画については、上記aに加え、別添資料1で指示されたような、デジタルサイネージで再生可能な形式でUSBメモリに保存し、納品すること
- ② 上記動画に用いた映像・画像素材(編集のプロジェクトファイル、アプリケーションは問わない)の保存されたHDD。なお、圧縮等の加工を行わないこと。

(5) 納品場所

東京都国立市中2-1 一橋大学国立キャンパス

(6) 予算規模

3, 5 0 0, 0 0 0円(税込み)

契約金額の範囲は、納品物作成に必要な経費とする。

(7) 著作権

本件で収録した画像、および完成物の動画に関する著作権は全て一橋大学に所属するものとする。

2. 動画コンテンツの要件

別添資料1にて記述

3. 業務の実施

業務の実施は、提案者たる法人が一橋大学との間で委託契約を締結した上で、動画制作等の役務を行うこと。したがって、提案者は、本業務を外注することを禁止する。

注：契約金額については、実施者として選定された後、一橋大学において必要金額を精査した上で決定するので、契約金額が提案時の金額と同額になるとは限らない。

4. 提案者(応募者)の資格

(1) 一橋大学契約事務取扱細則第6条及び第7条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人及び被補助者であって、契約締結のために必要な同意を得ている場合は、これに当たらない。

(2) 平成30年度文部科学省競争参加資格(全省庁統一資格)のうち、「役務の提供等」の「調査研究」または「その他」でA、B又はCの等級に格付けされている者であること。

(3) 一橋大学長から、取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

5. 応募方法

下記期間中に必要書類を提出すること。

(1) 必要書類

次の1~3については、正1部、および写4部(ただし、写4部については会社名・団体名等が特定できる情報を削除する)を、4~5については、正1部を提出す

ること。用紙はA4サイズ。

1. 提案書表紙（社判と代表者印を押印のこと） 別添①
2. 提案書本文 別添②
（提案書には絵コンテなどビジュアルによって企画内容が明瞭に示されている資料を含むこと。また新規に、または過去に作成した映像を参考資料として提出することも可とする）
3. 経費明細 別添③
なお、提案書提出に併せて、次の諸資料についても提出すること。
 - ・会社概要またはパンフレット
 - ・資格審査結果通知書（全省庁統一資格）の写し
 - ・本分野に関する業務実績または、これを行う能力があることを証明するための書類
4. 業務履行保証書 別添④
5. 誓約書 別添⑤
*提案書は、採用の如何にかかわらずお返しできませんのでご了承願います。なお、提案書については、営業上の機密事項等が含まれていることを勘案し、外部に対しては原則非公開とし、漏洩することのないよう取扱うこと。
6. ワーク・ライフ・バランス等の取り組みに関する認定省の写（認定されている場合のみ）

(2) 提出期限及び提案書類の提出方法

提案書類は、平成30年12月7日（木）正午まで（期限厳守）に郵送または持参により下記宛てに提出すること。

郵送の場合は、期限までに必着のこと。FAXや電子メール等での提出は受け付けない。

【提案関係書類の提出先】

国立大学法人一橋大学
財務部経理調達課研究科会計統括係 玉田 宛
〒186-8601
東京都国立市中2-1

6. 選定方法

- (1) 提案書類の内容につき、次の①から⑤の評価項目においてまず審査を行う。
特に②から④については、ヒアリング※を行ったうえで評価する。
（審査は、⑤を除いて1項目5点とし、非常に優れている：5点、優れている：4点、どちらとも言えない：3点、劣っている：2点、非常に劣っている：1点。②については3つの動画それぞれで評価するため最大15点となる。したがって総合31点満点。）
 - ① 公募要件
 - ・提案者の資格を満たしているか。
 - ② 業務の内容・構成
 - ・留学生向け・社会人向け・ミッション動画のそれぞれにおいて；

- ▶ 業務内容が別添資料 1 に記載の仕様を十分満たしているか。
 - ▶ HUB－SBA のブランドイメージの保持と拡張にふさわしい、また効果的にそれぞれの動画制作の目的を達成できるシーン／カットを企画できているか。
- ③ 業務の実施体制
- ・ 一橋大学の要請に適切かつ効果的に対応できる体制を有しているか。特に、英語の理解できるスタッフを関係させ、編集可能な体制を整えているか。
 - ・ 実績かつ能力のある人員／組織で構成されているか。
- ④ その他特筆すべき事項
- ・ 費用対効果の点で優れているか等、総合的に判断して特筆すべき点があるか。
- ⑤ ワーク・ライフ・バランス等の取り組みに関する認定状況について、認定がある場合、1点を付与する。
- (例) 女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、青少年の雇用の促進等に関する法律、その他関係法令に基づく認定

※ヒアリングの実施は以下の期間及び場所において、本学の指示する時間に行う。
時間調整は12月8日(金)に行われる予定である。

①ヒアリング実施期間

平成30年12月10日(月)

なお、予備日として、平成30年12月11日(火)

③ヒアリング実施場所

国立大学法人一橋大学

商学部・経営管理研究科会議室

〒186-8601

東京都国立市中2-1

注：必要に応じて、追加資料の提出または説明等を求めることがある。

また、選定後、一橋大学と提案者が実施計画の内容について、具体的に取り決めることになる。

(2) 選定結果の通知・公表等

- ①提案書類の作成等、今回の応募に要する費用等は応募者の負担とする。
- ②提案書類等で表記された内容については、選定の基本方針となるので、実現が確約されることのみを表記すること。選定後であっても、表記された内容に変更があった場合は、選定を取り消すことがある。
- ③結果の通知は、選定作業が終了次第ご連絡いたしますが、審査の経過等に関するお問い合わせには応じかねます。
- ④本業務は、日程や人数について変更される可能性があるので留意すること。

7. 問い合わせ

本件に関する問い合わせは、下記に連絡すること。

なお、質問等の受付及び回答については、E-mailのみとする。

国立大学法人 一橋大学財務部経理調達課研究科会計統括係

(担当：玉田) E-mail: hub-ka.g@dm.hit-u.ac.jp

別添資料 1

本業務の対象となる3種の動画は、それぞれターゲット、伝えるべき内容が異なっている。それらを踏まえて提案すること。

なお、ストーリー構成要件は多少変更可能ではあるが、大幅に変更されてはならない。適宜、本件担当者に相談してかまわない。

また、制作された映像は必ず、本研究科・学部のブランドイメージに沿った内容とすること。

① 留学生向け動画

目的：HUB-SBAは、例年一定数の交換留学生および留学生（4年生）を受け入れている。国際的な標準以上の教育内容を提供し、アジアを中心として広く国際社会に貢献していく計画である。そのような中、潜在的留学生の入学需要を喚起するため、HUB-SBAのブランドイメージを周知する動画を制作する。

対象：主に海外に在住の大学生であるが、研究者も対象に含む

言語：英語

長さ：1～2分

コアメッセージ：「東京にある、もともと歴史と伝統がある一橋大学なら、社会科学的思考力（social scientific thinking）を落ち着いて深められる」

ストーリー構成要件：「一橋大学は日本国内で最も歴史あるビジネススクールであり、社会科学を専門とした唯一の国立大学である」というテロップ、多くのすぐれた卒業生の紹介＝生の声、留学生や英語を話せる学生の生の声、キャンパスの四季、東京のイメージを伝える風景といったシーンが展開すること。ナレーションは冒頭に多少挿入してもかまわないが、可能な限り用いない。

② 社会人向け動画

目的：HUB-SBAは、2018年にこれまでの組織名称を改めるとともに、いくつかの新たなMBAプログラムを開始した。このような中、HUB-SBAではどのような教育経験ができるのかに関して、一貫したブランドイメージを日本社会に訴求していく必要がある。

対象：HUB-SBAのMBAプログラムに関心がある、20代後半～40代のビジネスエリート層

言語：日本語

長さ：1～2分

コアメッセージ：「伝統的教育法で先端知識を学べるHUB-SBAのMBA教育なら、経営力の基盤となるビジネスリテラシーが着実に身につけられる」

ストーリー構成要件：前半では、伝統ある大学を象徴する施設等、分厚い本が積み上がりそれを学ぶ様子、少人数で学ぶ様子が流れる。一方、千代田キャンパスのシーンで「先端」のイメージも出す。その後インタビューの様子が多数（先端の内容を学ぶことと普遍的な思考力を学ぶことの両立、ゼミでの学びなどについて語ってもらう）シーンが展開すること。

③ ミッション動画

目的：ビジネススクールの教育の質を検査する機関であるAACSBによる認証を取得すべく、現在HUB-SBAは活動している。その検査の際、HUB-SBAのミッション・ステートメントの学内への浸透度が確認される。しかし現在、HUB-SBAのミッション・ステートメントの浸透度は決して高くない。そこでミッション・ステートメントを学生および職員、教員に浸透させるための動画を制作する。

対象：主にHUB-SBA大学院生・商学部の学生（留学生を含む）であるが、教職員も対象に含む

言語：日本語（ただしテロップは英語と日本語の2種類を使用する）

音声：BGMありバージョン、BGMなしバージョンの2種類

長さ：1～2分

動作環境：BGMなしバージョンは、本学図書館のデジタルサイネージで放映予定である。そのため、再生可能なファイル形式については、以下のマニュアルのP.24を参照すること。

取扱説明書<サイネージ>

https://dl.mitsubishielectric.co.jp/dl/lbg/wink/ssl/wink_doc/m_contents/wink/D_MENT_DOC/dsm-24_40_50_6517_ib-signage.pdf

コアメッセージ：「ミッション達成にむけ、われわれHUB-SBAのすべてのステークホルダは一致団結して活動している」

ストーリー構成要件：学生、職員、教員がミッション・ステートメント一つ一つに対して解釈をし、「ミッションを達成するために日々頑張っているのだ」ということを発話している映像が中心。最初にミッション・ステートメントを解説するナレーションがあってもよいかもしれない。

ロゴ情報：以下のWEBサイトを参照すること。

<http://www.cm.hit-u.ac.jp/about/mission/>

※ロゴ等の使用については、別途規定あるため、決定後に説明する。

その他、以下の点について、ご対応頂きたい。

- イ) ①に関して、英語の理解できるスタッフを関係させ、編集可能な体制を整えること。編集可能とはたとえば、教員および留学生が英語で話した内容についてどのカットを採用すべきか自社で判断できること、また、発話内容にそった画像や映像を挿絵的に挿入しようとする場合、どのような画像や映像が適切か自社で判断できること等を意味する。
- ロ) 3種の動画のコンテンツとなる素材については、3種に使える共通したものが多くあるはずである。適宜HUB-SBA関係者にヒアリングを実施し、費用節約が可能なように撮影スケジュールを検討すること。なお、いくつかの施設の素材（画像・動画）については、すでに撮影したものが利用可能である。適宜確認すること。

以上